



# 取扱説明書

## ColorNavigator Network ネットワークカラーマネージメントソリューション Ver.1.1

### 重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

- 
- ・取扱説明書を含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。

[www.eizo.co.jp](http://www.eizo.co.jp)

---

- 
- 
- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
  - 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
  - 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
  - 4.本ソフトウェアの使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 
-

# 目次

目次 .....	3	付録 .....	33
第1章 はじめに .....	4	商標 .....	33
1-1. 特長 .....	4		
1-2. ソフトウェア構成 .....	4		
1-3. ColorNavigator Networkの概要 .....	5		
● ユーザーアカウント .....	5		
● 対応ブラウザ .....	5		
● 管理可能なモニター .....	5		
1-4. メイン画面 .....	6		
● モニター管理 .....	6		
● グループ/ユーザー管理 .....	7		
第2章 ColorNavigator Networkの導入 .....	8		
2-1. ColorNavigator Networkの導入 .....	8		
2-2. ログイン/ログアウト .....	9		
● ログイン .....	9		
● ログアウト .....	9		
2-3. グループ管理 .....	10		
● 登録 .....	10		
● 編集 .....	10		
2-4. ユーザー管理 .....	11		
● 登録 .....	11		
● 編集 .....	11		
● ログインユーザーの設定 .....	12		
● 削除 .....	12		
2-5. クライアントコンピュータの設定 .....	13		
第3章 モニター管理 .....	17		
3-1. モニター一覧 .....	17		
● 絞り込み表示 .....	17		
● 表示内容の設定 .....	19		
● モニターの削除 .....	20		
● クリップボードにコピー .....	21		
● CSVファイルでダウンロード .....	21		
3-2. モニター詳細情報 .....	22		
3-3. リモート制御 .....	23		
● モニター設定 .....	23		
● アップロード要求 .....	30		
● 資産情報の設定 .....	30		
第4章 こんなときは .....	32		

# 第1章 はじめに

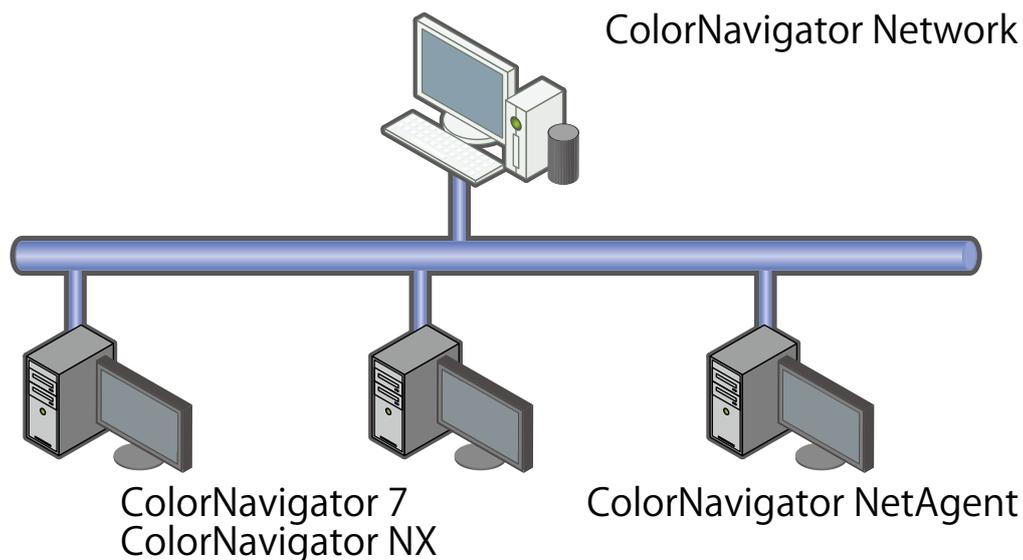
ColorNavigator Networkは、ネットワークに接続したコンピュータからWebブラウザを用いてサーバーにアクセスし、ColorNavigator 7、ColorNavigator NX、またはColorNavigator NetAgentソフトウェアがインストールされたコンピュータに接続した各モニターに対して、設定や資産情報を一括して管理するための支援ツールです。

## 1-1. 特長

- コンピュータ、モニターの一覧表示
  - コンピュータとコンピュータに接続されているモニターの一覧を表示
  - モニターの状態をネットワーク上で監視し、モニターの品質管理を支援
- モニターのリモート操作
  - モニターの設定
    - SelfCalibration（目標およびスケジュール）、SelfCorrection（スケジュール）、およびカラーモード（タイプの切り替え<sup>※1</sup>、調整およびモードの有効/無効）の設定ができます。
  - ※1 機種によっては設定できません。詳細はColorNavigator 7またはColorNavigator NXの取扱説明書を参照してください。
  - 資産情報の設定
    - 個別のモニターに固有の資産情報を設定できます。
  - データアップロード要求
    - 最新のモニターの情報をアップロードするようクライアントコンピュータに要求できます。

## 1-2. ソフトウェア構成

ColorNavigator Networkはサーバー上で運用されるWebアプリケーションです。管理者はWebブラウザを使ってログインします。ColorNavigator Networkで管理するコンピュータには、ColorNavigator 7、ColorNavigator NX、またはColorNavigator NetAgentソフトウェアがインストールされている必要があります。管理者のコンピュータには、ソフトウェアをインストールする必要はありません。



## 1-3. ColorNavigator Networkの概要

### ● ユーザーアカウント

ユーザーアカウントには「システム管理者」、「通常ユーザー」、および「制限付きユーザー」の3種類があります。各ユーザーアカウントの違いは次のとおりです。ユーザーアカウントの追加および設定方法については、「[2-4. ユーザー管理](#)」(P.11)を参照してください。

○：対応、-：非対応

機能		システム管理者	通常ユーザー	制限付きユーザー
モニター情報の参照		○	○	○
モニターのリモート制御	モニターの設定	○	○	-
	資産情報の設定	○	○	-
	データアップロード要求	○	○	○
グループ/ユーザー設定		○	-	-

### ● 対応ブラウザ

次のブラウザの最新バージョンが使用できます。ブラウザのJavaScriptとCookieの設定が有効になっている必要があります。

#### Windows

- Google Chrome
- Microsoft Edge

#### macOS

- Google Chrome
- Safari

#### Linux

- Google Chrome
- Mozilla Firefox

### ● 管理可能なモニター

ColorNavigator Networkは、ColorNavigator 7またはColorNavigator NXが動作するEIZO ColorEdgeモニター（CG3145 / CS230 / CS240 / CS270を除く）を管理できます。詳細は、当社のWebサイト（[www.eizo.co.jp](http://www.eizo.co.jp)）を参照してください。

## 1-4. メイン画面

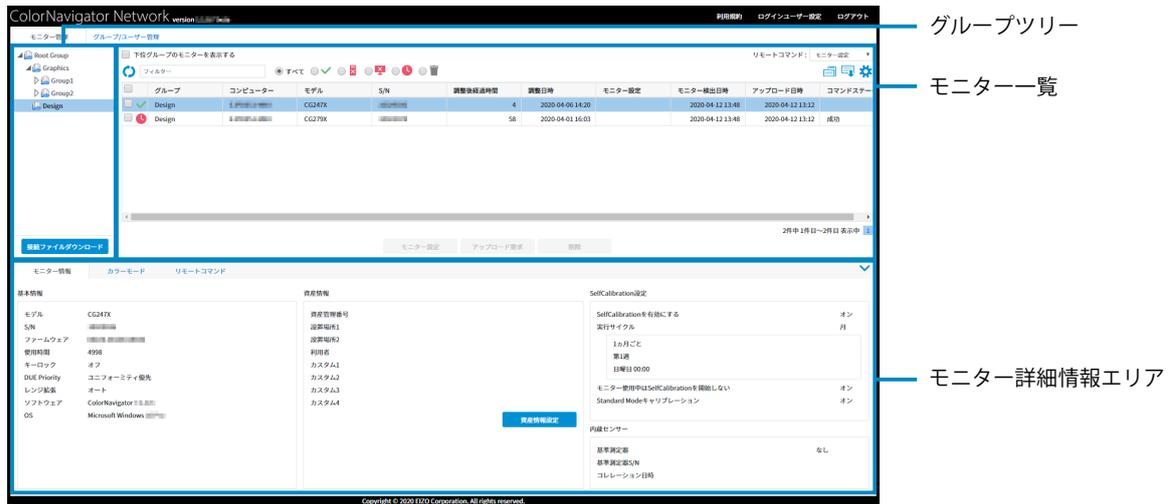
ColorNavigator Networkにログインすると、メイン画面が表示されます。メイン画面には、「モニター管理」画面と「グループ/ユーザー管理」画面があります。

### 注意点

- ・レイアウトは予告なく変更される場合があります。

## ● モニター管理

接続されているモニターの情報を表示したり、モニターに対してリモート操作を実行できます。



グループツリー	管理可能なグループを表示します。
モニター一覧	選択したグループで管理されているモニターを一覧表示します。
モニター詳細情報エリア	モニター一覧で選択しているモニターの詳細情報を表示します。 モニターの基本情報やカラーモード設定、リモートコマンド実施状況が表示されます。

## ● グループ/ユーザー管理

グループを管理したり、各グループに所属しているユーザーの表示、編集ができます。

### 参考

- ・「システム管理者」でログインしたときに表示されます。

グループツリー

編集エリア

ユーザー一覧

グループツリー	管理可能なグループを表示します。「グループ追加」ボタンでグループを追加することもできます。
編集エリア	選択したグループの情報を編集したり、各ユーザーの情報を表示します。
ユーザー一覧	グループツリーで選択中のグループに登録されているユーザーを一覧表示します。「ユーザー追加」ボタンでユーザーを追加することもできます。

## 第2章 ColorNavigator Networkの導入

ColorNavigator Networkを使用するためには、必要に応じて、グループの登録、ユーザーアカウントの追加、クライアントコンピュータの設定が必要になります。

### 2-1. ColorNavigator Networkの導入

導入手順は次のとおりです。

1. ColorNavigator Networkにログインします (P.9)。
2. 必要なグループを追加します (P.10)。
3. 各グループに必要なユーザーを登録します (P.10)。
4. 各グループの接続ファイルをダウンロードします (P.13)。
5. クライアントコンピュータを設定します (P.14)。

## 2-2. ログイン/ログアウト

### ● ログイン

ColorNavigator Networkのご使用を申請いただくと、当社にてアカウント情報を登録します。登録作業が完了すると、当社からColorNavigator NetworkにアクセスするためのURL、ユーザーアカウント、およびパスワードをご提供いたします。

#### 注意点

- ・パスワードは定期的な変更をお勧めします。

#### 参考

- ・ログイン後に操作せずに一定の時間が経過すると、自動的にログアウトします。

ユーザーアカウントとパスワードを入力して、「ログイン」ボタンをクリックします。

初回ログイン時のみ、利用規約が表示されます。内容をよくお読みになり、「同意する」ボタンをクリックします。

パスワード変更画面が表示された場合は、新しいパスワードを設定してください。

### ● ログアウト

メイン画面の右上の「ログアウト」をクリックしてログアウトします。

## 2-3. グループ管理

グループを設定することができます。グループの中にグループを設定することもできます。グループは、メイン画面の「グループ/ユーザー管理」画面で管理します。

### 参考

- グループを管理するには、「システム管理者」でログインする必要があります。

### ● 登録

- 「グループ/ユーザー管理」画面のグループツリーの下にある「グループ追加」をクリックします。  
編集エリアにグループ追加のための画面が表示されます。
- 必要な情報を設定します。

The screenshot shows a registration form for a new group. The form is titled '新グループ' (New Group). It has several sections: 'グループ名' (Group Name) with a text input field containing '新グループ'; '情報' (Information) with a large text area containing 'Design下の新グループ'; '所属' (Parent Group) with a dropdown menu showing 'Design'; 'グループID' (Group ID) with a text input field; '接続コード' (Connection Code) with a text input field; and '問い合わせ間隔' (Polling Interval) with a numeric input field set to '3' and a unit dropdown set to '分' (minutes). At the bottom, there is a '接続ファイルダウンロード' (Download Connection File) button and a '保存' (Save) button. Lines connect the labels on the right to the corresponding form fields.

- 「保存」をクリックします。  
グループが作成され、グループツリーに表示されます。

### ● 編集

- 「グループ/ユーザー管理」画面のグループツリーから、編集するグループを選択します。  
編集エリアにグループ編集のための画面が表示されます。
- 必要な情報を設定します。

This screenshot is identical to the one above, showing the 'New Group' registration form. It includes the same fields for Group Name, Information, Parent Group, Group ID, Connection Code, and Polling Interval, along with the 'Save' button.

- 「保存」をクリックします。  
グループの設定が保存されます。

### ● 削除

- 「グループ/ユーザー管理」画面のグループツリーから、削除するグループを選択します。
- グループツリーの下にある「ユーザー削除」をクリックします。  
確認メッセージが表示されます。
- 「上記に同意してユーザーを完全に削除する」にチェックを入れ、「完全に削除する」をクリックします。

## 2-4. ユーザー管理

特定のグループに所属するユーザーを設定することができます。ユーザーは、所属するグループとその下位階層のグループの情報を参照することができます。

### 参考

- ユーザーを管理するには、「システム管理者」でログインする必要があります。

### ● 登録

- 「グループ/ユーザー管理」画面のユーザー一覧の下にある「ユーザー追加」をクリックします。編集エリアにユーザー追加のための画面が表示されます。
- 必要な情報を設定します。

ユーザー名	<input type="text" value="NewGroupAdmin"/>	ユーザー名を設定します。
フルネーム	<input type="text" value="新グループ管理者"/>	ユーザーのフルネームを設定します。
タイプ	<input type="text" value="システム管理者"/>	ユーザーアカウントの種類を設定します。
パスワード	<input type="password" value="....."/>	初期パスワードを設定します（2か所）。
パスワード確認	<input type="password" value="....."/>	
ステータス	<input type="text" value="有効"/>	ステータス（有効/無効）を設定します。
所属	<input type="text" value="Root Group"/>	所属するグループを設定します。
言語	<input type="text" value="日本語"/>	ユーザーが使用する言語を設定します。
日付形式	<input type="text" value="yyyy-MM-dd"/>	日付形式を設定します。
タイムゾーン	<input type="text" value="(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京"/>	タイムゾーンを設定します。
メールアドレス	<input type="text" value="test@test.jp"/>	メールアドレスを設定します。

- 「保存」をクリックします。  
ユーザーが作成され、ユーザー一覧に表示されます。

### ● 編集

- 「グループ/ユーザー管理」画面のユーザー一覧から、編集するユーザーを選択します。編集エリアにユーザー編集のための画面が表示されます。
- 必要な情報を設定します。

ユーザー名	<input type="text" value="NewGroupAdmin"/>	
フルネーム	<input type="text" value="新グループ管理者"/>	ユーザーのフルネームを設定します。
タイプ	<input type="text" value="システム管理者"/>	ユーザーアカウントの種類を設定します。
パスワード	<input type="password" value="....."/>	パスワードを設定します（2か所）。
パスワード確認	<input type="password" value="....."/>	
ステータス	<input type="text" value="有効"/>	ステータス（有効/無効）を設定します。
所属	<input type="text" value="Root Group"/>	所属するグループを設定します。
言語	<input type="text" value="日本語"/>	ユーザーが使用する言語を設定します。
日付形式	<input type="text" value="yyyy-MM-dd"/>	日付形式を設定します。
タイムゾーン	<input type="text" value="(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京"/>	タイムゾーンを設定します。
メールアドレス	<input type="text" value="newgroup@test.com"/>	メールアドレスを設定します。

- 「保存」をクリックします。  
ユーザー設定が保存されます。

## ● ログインユーザーの設定

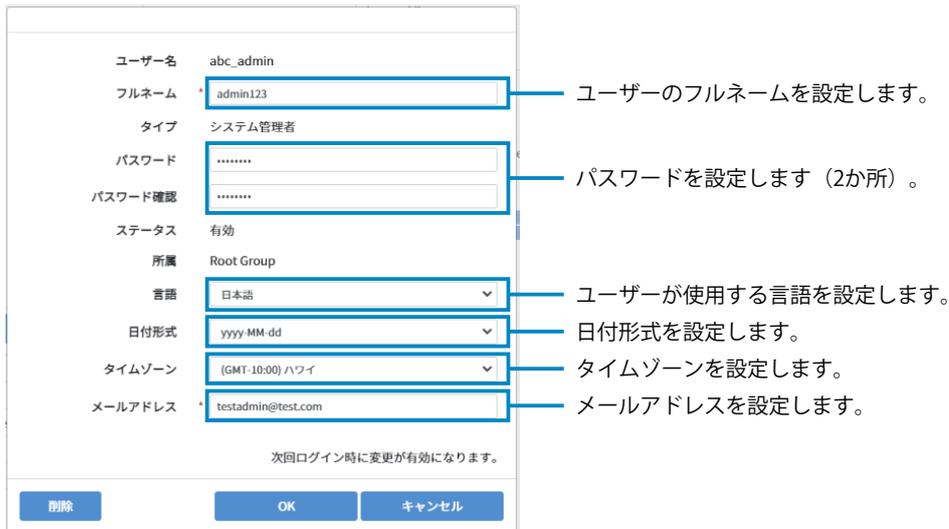
ログイン中のユーザー設定を変更できます。

1. 右上の「ログインユーザー設定」をクリックします。



ログインユーザー設定画面が表示されます。

2. 必要な情報を設定します。



ユーザー名 abc\_admin

フルネーム admin123

タイプ システム管理者

パスワード .....

パスワード確認 .....

ステータス 有効

所属 Root Group

言語 日本語

日付形式 yyyy-MM-dd

タイムゾーン (GMT-10:00) ハワイ

メールアドレス testadmin@test.com

次回ログイン時に変更が有効になります。

削除 OK キャンセル

ユーザーのフルネームを設定します。

パスワードを設定します (2か所)。

ユーザーが使用する言語を設定します。

日付形式を設定します。

タイムゾーンを設定します。

メールアドレスを設定します。

3. 「OK」をクリックします。  
次回ログイン時に変更が有効になります。

## ● 削除

### 「グループ/ユーザー管理」画面

1. 「グループ/ユーザー管理」画面のユーザー一覧から、削除するユーザーを選択します。
2. ユーザー一覧の下にある「ユーザー削除」をクリックします。  
確認メッセージが表示されます。
3. 「上記に同意してユーザーを完全に削除する」にチェックを入れ、「完全に削除する」をクリックします。

### 「ログインユーザー設定」画面

1. 右上の「ログインユーザー設定」をクリックします。



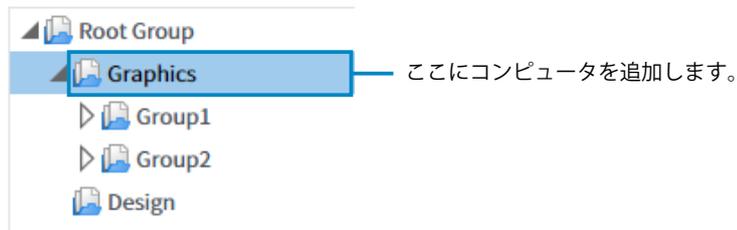
ログインユーザー設定画面が表示されます。

2. 「削除」をクリックします。  
確認メッセージが表示されます。
3. 「上記に同意してユーザーを完全に削除する」にチェックを入れ、「完全に削除する」をクリックします。

## 2-5. クライアントコンピュータの設定

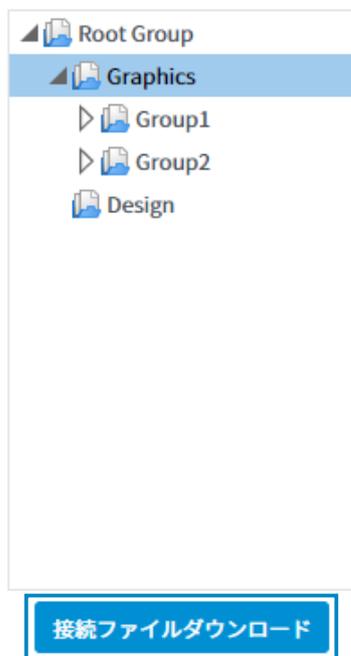
管理対象のモニターを接続しているすべてのコンピュータに対して、ソフトウェアをセットアップします。

ここでは例として、下の図の「Graphics」グループに、CG279Xが接続されているコンピュータを追加する手順を説明します。



### 1. 接続ファイルをダウンロードします。

1. ColorNavigator Networkにログインします。
2. グループツリーから「Graphics」を選択します。
3. 「接続ファイルダウンロード」をクリックします。



Connection.xmlファイルをダウンロードします。

#### 参考

- すべての種類のユーザーでダウンロードすることができます。

### 2. ダウンロードした接続ファイルをクライアントコンピュータのユーザーに配布します。

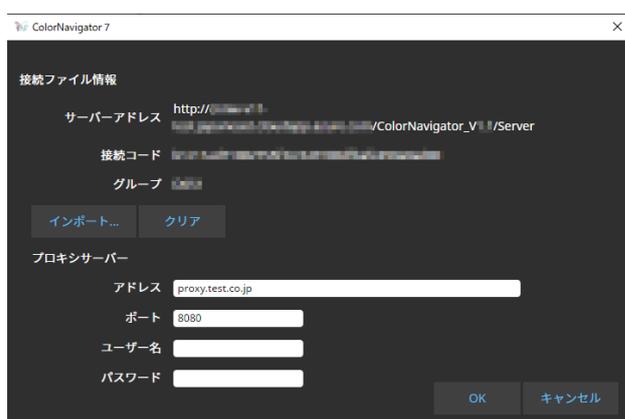
### 3. クライアントコンピュータを設定します。

#### ● ColorNavigator 7またはColorNavigator NXがインストールされているコンピュータの場合

ColorNavigator 7またはColorNavigator NXを起動し、Connection.xmlファイルをインポートしてネットワークを設定します。詳細は、ColorNavigator 7またはColorNavigator NXの取扱説明書を参照してください。

##### 参考

- ・ インターネット接続にプロキシサーバーを使用している場合は、ColorNavigator 7またはColorNavigator NXで正しくプロキシを設定してください。



#### ● ColorNavigator 7およびColorNavigator NXをインストールせずに管理する場合

ColorNavigator 7およびColorNavigator NXをインストールできないシステムの場合、ColorNavigator NetAgentをインストールすることでモニターを管理できるようになります。

##### 参考

- ・ 次のソフトウェアはColorNavigator NetAgentと同時に使用することはできません。ColorNavigator NetAgentをインストールする場合、次のソフトウェアはアンインストールしてください。
  - ColorNavigator 6
  - ColorNavigator NX
  - ColorNavigator 7
- ・ ColorNavigator NetAgentのシステム要件はColorNavigator 7またはColorNavigator NXと同様です。詳細は、ColorNavigator 7またはColorNavigator NXの取扱説明書を参照してください。
- ・ ColorNavigator NetAgentを使ってモニターを調整することはできません。また、SelfCalibrationに対応していない機種では、ColorNavigator Networkを使用してCALモードを調整できません。ColorNavigator 7またはColorNavigator NXの使用をお勧めします。
- ・ ColorNavigator NetAgentの入手方法については、当社担当者にお問い合わせください。

## ● Windowsの場合

1. ダウンロードしたファイルを解凍します。
2. 作成されたフォルダ内の「setup.exe」ファイルが配置されているフォルダに、Connection.xml ファイルをコピーします。
3. インターネット接続にプロキシサーバーを使用している場合は、「setup.exe」ファイルが配置されているフォルダのProxy.xmlファイルを編集し、プロキシサーバーを設定します。
4. 「setup.exe」を実行します。

### 参考

- ColorNavigator NetAgentのアンインストールは、次の手順でおこなってください。
  1. 「コントロールパネル」で「プログラムのアンインストール」を選択し、クリックします。
  2. リストから「CNNetAgent」を選択し、「アンインストール」をクリックします。
- インストールおよびアンインストール時にはユーザーアカウントに「コンピュータの管理者」権限が必要となります。
- ユーザーアカウントの権限設定についてはシステム管理者に問い合わせてください。

## ● macOSの場合

1. ダウンロードしたファイルを解凍します。
2. 作成されたフォルダ内の「CNNetAgent.pkg」ファイルが配置されているフォルダに、Connection.xmlファイルをコピーします。
3. インターネット接続にプロキシサーバーを使用している場合は、「CNNetAgent.pkg」ファイルが配置されているフォルダのProxy.xmlファイルを編集し、プロキシサーバーを設定します。
4. 「CNNetAgent.pkg」を実行します。

### 参考

- ColorNavigator NetAgentのアンインストールは、次の手順でおこなってください。
  1. 「アクティビティモニタ」を起動して「CNNetAgent」を終了します。
  2. 次のファイルおよびフォルダを削除します。
    - /アプリケーション/CNNetAgent.app
    - /ライブラリ/Application Support/EIZO/ColorNavigator NetAgent
    - /ライブラリ/LaunchAgents/com.eizo.ColorNavigatorNetAgent.plist

## ● Linuxの場合

1. ダウンロードしたファイルを解凍します。
2. 作成されたディレクトリ内の「install.sh」ファイルが配置されているディレクトリに、Connection.xmlファイルをコピーします。
3. インターネット接続にプロキシサーバーを使用している場合は、「install.sh」ファイルが配置されているディレクトリのProxy.xmlファイルを編集し、プロキシサーバーを設定します。
4. 「install.sh」を実行します。

### 参考

- ColorNavigator NetAgentをアンインストールする場合は、解凍して作成されたディレクトリ内の「uninstall.sh」を実行します。
- インストールおよびアンインストール時にはユーザーアカウントにroot権限が必要となります。

### 参考

- Proxy.xmlファイルは次の内容になります。テキストエディターを使用して編集してください。

```
<Proxy Version="1">
  <Host>proxy.example.co.jp</Host>
  <Port>8080</Port>
</Proxy>
```

— サーバーのアドレスを指定します。

— ポート番号を指定します。

## 4. 接続を確認します。

1. ColorNavigator Networkにログインします。
2. グループツリーの「Graphics」を選択します。

モニター一覧にモニターが表示されます。表示されない場合は  をクリックします。



The screenshot shows the ColorNavigator Network interface. On the left, a tree view shows 'Root Group' expanded to 'Graphics', which contains 'Group1', 'Group2', and 'Design'. The 'Design' group is selected. On the right, a table displays monitor information. The table has columns for 'グループ' (Group), 'コンピューター' (Computer), 'モデル' (Model), 'S/N', '調整後経過時間' (Adjustment elapsed time), '調整日時' (Adjustment date), 'モニター設定' (Monitor settings), 'モニター検出日時' (Monitor detection date), 'アップロード日時' (Upload date), and 'コマンドステータス' (Command status). The table contains two rows of data.

グループ	コンピューター	モデル	S/N	調整後経過時間	調整日時	モニター設定	モニター検出日時	アップロード日時	コマンドステータス
Design		CG247X		4	2020-04-06 14:20		2020-04-12 13:58	2020-04-12 13:12	
Design		CG279X		58	2020-04-01 16:03		2020-04-12 13:58	2020-04-12 13:12	成功

# 第3章 モニター管理

「モニター管理」画面では、モニターを個別に管理、または一括で管理できます。

## 3-1. モニター一覧

### ● 絞り込み表示

条件を設定して、一覧に表示されるモニターを絞り込むことができます。

チェックボックスをオンにすると、下位階層のグループのモニターも一覧に表示します。



任意のキーワードで絞り込みます。テキストボックスに入力する文字は大文字と小文字が区別されません。

アイコンの意味は次のとおりです。

アイコン	意味
	問題のないモニターやコンピュータを表示します。
	「コンピュータ検出日時」からの経過日数が、「警告設定」タブで設定したしきい値を超えているモニターを表示します。 一定期間ColorNavigator Networkに接続されていないコンピュータを調べることができます。
	「モニター検出日時」からの経過日数が、「警告設定」タブで設定したしきい値を超えているモニターを表示します。 一定期間情報が更新されていないモニターを調べることができます。
	「調整日時」からの使用時間または経過日数が、「警告設定」タブで設定したしきい値を超えているモニターを表示します。 一定期間調整されていないモニターを調べることができます。
	削除したモニターを表示します。

## ● 警告設定

 (調整日時/調整後経過時間)、 (モニター検出日時)、 (コンピュータ検出日時) の警告条件を設定します。

1.  をクリックします。

下位グループのモニターを表示する

リモートコマンド: モニター設定

フィルター  すべて 🟢 🔴 🟡 🟠 🟤 🟢 🔴 🟡 🟠 🟤 🗑️

<input type="checkbox"/>	グループ	コンピューター	モデル	S/N	調整後経過時間	調整日時	モニター設定	モニター検出日時	アップロード日時	コマンドステータス
<input checked="" type="checkbox"/>	Design		CG247X		4	2020-04-06 14:20		2020-04-12 13:58	2020-04-12 13:12	
<input checked="" type="checkbox"/>	Design		CG279X		58	2020-04-01 16:03		2020-04-12 13:58	2020-04-12 13:12	成功

2. 設定したい項目のチェックボックスをオンにして、値を設定します。

警告設定 列設定

警告を表示するしきい値を設定してください

 コンピューター検出日時  日

 モニター検出日時  日

 調整後経過時間  時間

3. 「保存」をクリックします。

## ● 表示内容の設定

モニター一覧に表示する項目を変更することができます。

1.  をクリックします。

下位グループのモニターを表示する

リモートコマンド: モニター設定

フィルター すべて 🟢 🔴 🟡 🟠 🟣 🟤 🟥 🟦 🟧 🟨 🟩 🟪 🟫 🟬 🟭 🟮 🟯 🟰 🟱 🟲 🟳 🟴 🟵 🟶 🟷 🟸 🟹 🟺 🟻 🟼 🟽 🟾 🟿 🟿

<input type="checkbox"/>	グループ	コンピューター	モデル	S/N	調整後経過時間	調整日時	モニター設定	モニター検出日時	アップロード日時	コマンドステータス
<input checked="" type="checkbox"/>	Design		CG247X		4	2020-04-06 14:20		2020-04-12 13:58	2020-04-12 13:12	
<input checked="" type="checkbox"/>	Design		CG279X		58	2020-04-01 16:03		2020-04-12 13:58	2020-04-12 13:12	成功

2. 「列設定」タブをクリックして、項目を追加または削除します。

一覧に追加できる項目です。  
一覧に表示される項目です。

上へ  
下へ

選択している項目が1つ上に移動します。  
選択している項目が1つ下に移動します。

追加> — 項目をモニター一覧に追加します。  
<削除 — 項目をモニター一覧から削除します。  
初期設定 — モニター一覧の項目を初期設定に戻します。

3. 「保存」をクリックします。

## ● モニターの削除

### モニター一覧から削除（復元可）

管理不要になったモニターをリストから削除することができます。

1. 削除するモニターを選択します。
2. 「削除」ボタンをクリックします。  
選択したモニターが一覧から削除されます。



#### 参考

- 削除したモニターを再度表示する場合は「削除したモニターを元に戻す」をクリックします。

### データベースから完全に削除（復元不可）

モニター一覧から削除したモニターを、データベースからも完全に削除することができます。

1.  を選択します。  
モニター一覧から削除したモニターが表示されます。
2. 削除するモニターを選択します。
3. 「完全に削除する」をクリックします。



確認メッセージが表示されます。

4. 「完全に削除する」をクリックします。

#### 参考

- モニター情報をデータベースから完全に削除するには、「システム管理者」でログインする必要があります。
- モニター設定コマンドのステータスが「SelfCalibration待ち」または「後処理待ち」のモニターを削除すると、モニター本体の「カラー調整」－「目標設定」が操作できない状態になります。この状態は、モニター本体の「本体設定」－「オールリセット」を実行するか、ColorNavigator 7を起動することで解消します。

## ● クリップボードにコピー

表示中のモニター一覧を文字データ（タブ区切り）としてクリップボードにコピーできます。

1.  をクリックします。



2. 「OK」 をクリックします。

## ● CSVファイルでダウンロード

表示中のモニター一覧をCSVファイルでダウンロードできます。

1.  をクリックします。

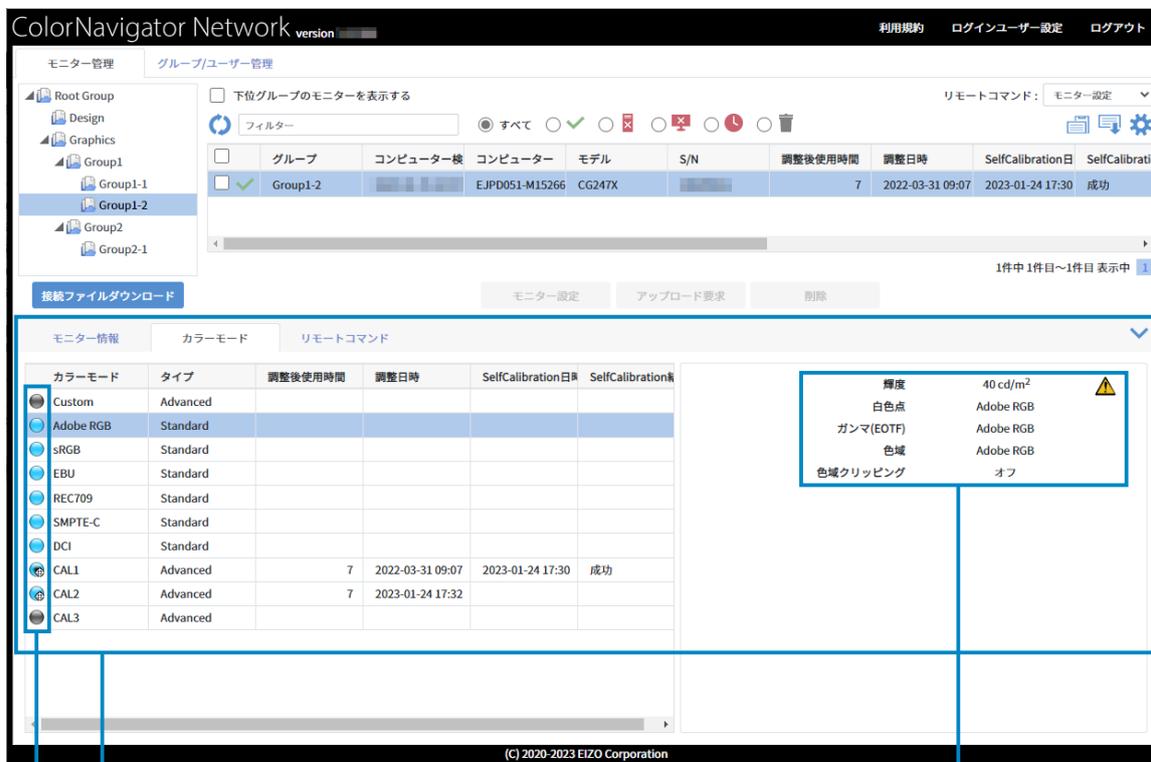


2. ファイル名と保存場所を指定して、「保存」 をクリックします。

## 3-2. モニター詳細情報

モニター詳細情報エリアには、モニター一覧（「3-1. モニター一覧」（P.17）参照）で選択しているモニターの詳細情報が表示されます。各タブをクリックすると、モニターの基本情報、カラーモード設定、リモートコマンド実施状況を切り替えて表示します。

「カラーモード」タブでは、調整目標、エミュレーションデータの状態が表示されます。



モニター詳細情報エリア

ColorNavigator Networkで設定した輝度が、モニター本体で設定できる輝度の範囲を超えている場合、が表示されます。  
にマウスを重ねると、メッセージが表示されます。

マークの意味は、次のとおりです。

マーク	モニターの調整状態	マーク	モニター設定
	調整完了後のモニター使用時間または調整日からの経過日数が、設定値未満、または設定値なし		現在表示中のカラーモードです。
青色			SelfCalibration / SelfCorrection目標に設定されているカラーモードです。
	調整完了後のモニター使用時間が設定値以上		現在表示中のカラーモードです。
赤色			SelfCalibration / SelfCorrection目標に設定されているカラーモードです。
	未調整		現在表示中のカラーモードです。
灰色			
空白	モードが無効です。		

### 3-3. リモート制御

複数のモニターを一括制御することができます。

#### 注意点

- CS/CXシリーズモニターをリモート制御する場合、次の制限があります。
  - Advanecdモードは未調整状態になります。ColorNavigator 7またはColorNavigator NXを使用してキャリブレーションをおこなってください。

#### ● モニター設定

モニター設定をモニターに送信します。モニター設定で送信される内容は次のとおりです。

カラーモード設定	<ul style="list-style-type: none"><li>すべてのカラーモードについて、次の内容を設定します。<ul style="list-style-type: none"><li>- カラーモードのタイプ (Advanecd / Standard / Sync Signal) ※1</li><li>- SelfCalibrationの調整目標 (Advanecdモード)</li><li>- 調整設定 (Standard / Sync Signal※3モード) 輝度、白色点 (色温度)、ガンマ (EOTF) および色域※1を設定します。</li></ul></li></ul>
SelfCalibration / SelfCorrection設定※2	<ul style="list-style-type: none"><li>次の内容を設定します。<ul style="list-style-type: none"><li>- SelfCalibration / SelfCorrectionの有効 / 無効</li><li>- SelfCalibration / SelfCorrectionスケジュール</li><li>- Standard Modeキャリブレーションの有効 / 無効</li></ul></li></ul>
キーロック設定	<ul style="list-style-type: none"><li>モニターのキーロックの有効 / 無効を設定します。</li></ul>

※1 CG245W、CG246、CG275W、CG276、CX240、CX270では設定できません。

※2 CS2400R、CS2400S、CS2420、CS2730、CS2410、CS2731、CS2740、CS2740-Xでは設定できません。

※3 Sync Signalモードでは、白色点と色域クリッピングのみ設定可能です。

1. モニター一覧で、対象のモニターを選択します。



「モニター設定」ボタンが有効になります。

2. 「モニター設定」をクリックします。  
モニター設定の選択画面が表示されます。

3. プルダウンリストからモニター設定を選択します。

初回はプルダウンリストには何も表示されません。「モニター設定の編集」(P.25)を参照して、設定データを作成してください。

参考

- プルダウンリストで表示するモニター設定の条件を変更できます。
  1. 「フィルタ」をクリックします。
  2. 条件を変更します。初期設定では、ログインユーザーが所属しているグループとログインユーザーが選択されています。下位階層のグループおよびユーザーも選択できます。

4. SelfCalibration対応機種の場合、最初のSelfCalibrationの実行タイミングを設定します。

参考

- SelfCorrection対応機種の場合は、ColorNavigator 7またはColorNavigator NXを使用してAdvancedモードのキャリブレーションをおこなってください。
- モニター設定を反映させるために、モニターのSelfCalibrationを実行する必要があります。

モニターがパワーセーブに移行するときにSelfCalibrationが開始されます。

クライアントコンピュータがモニター設定を受信するとすぐにSelfCalibrationが開始されます。

指定した日時にSelfCalibrationが開始されます。3ヶ月先まで設定できます。

5. 「送信」をクリックします。

モニター設定がクライアントコンピュータに送信されます。モニター設定の実施状況はモニター詳細情報エリア (P.6) で確認できます。

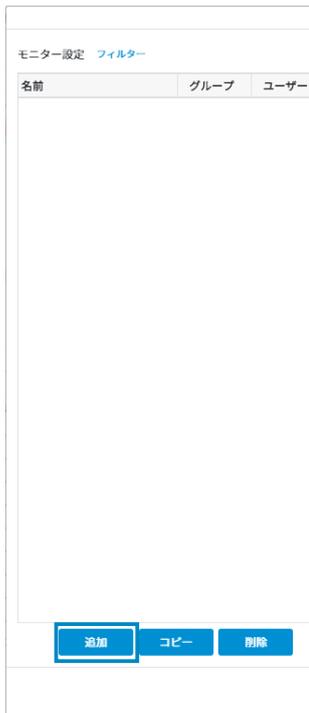
## ● モニター設定の編集

1. モニター設定の選択画面で「編集」をクリックします。



モニター設定の作成画面が表示されます。

2. 「追加」をクリックします。



設定内容が編集できるようになります。

### 参考

- モニター設定の一覧で、編集したいモニター設定を選択すると、既存のモニター設定を編集できます。

3. 設定名を編集します。

4. リストから追加、削除して、対象モニターを選択します。



5. 「カラーモード」タブをクリックして、カラーモードを設定します。

**注意点**

- 設定できる内容は機種によって異なります。

カラーモードの有効/無効を設定します。（有効：、無効：）

カラーモード名を設定します。

カラーモードのタイプ（Standard / Advanced / Sync Signal）を設定します。

カラーモード	タイプ
<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="radio"/> Custom	Standard
<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="radio"/> Adobe RGB	Standard
<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="radio"/> sRGB	Standard
<input type="checkbox"/> <input type="radio"/> EBU	Standard
<input type="checkbox"/> <input type="radio"/> REC709	Standard
<input type="checkbox"/> <input type="radio"/> SMPTE-C	Standard
<input type="checkbox"/> <input type="radio"/> DCI	Standard
<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="radio"/> CAL1	Advanced
<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="radio"/> CAL2	Advanced
<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="radio"/> CAL3	Advanced

## Advancedモード

SelfCalibrationの調整目標を設定します。

輝度  80  最小値  最大値  目標輝度を設定します。

白色点  6500 K  手入力  目標白色点を設定します。色温度または色座標で設定します。「規格」をクリックすると各規格で定義されている白色点を設定できます。

ガンマ(EOTF)  2.2  L\*  目標ガンマ (EOTF) を設定します。「規格」をクリックすると各規格で定義されているAdvanced値を設定できます。

色域  Native  手入力  目標色域を設定します。「規格」をクリックすると各規格で定義されている色域を設定できます。

色域クリッピング 色域クリッピングを設定します。色域で規格を選択した場合は、選択した規格に合わせて自動的に設定されます。

### 注意点

- CS/CXシリーズモニターの場合、調整目標はモニターに送信されますが、自動では調整されません。ColorNavigator 7またはColorNavigator NXを使用して手動で調整する必要があります。

### 参考

- 機種によっては目標輝度の「最大値」または「最小値」を設定できます。
- 機種によっては白色点に「D65 (CRT)」を設定できます。
- HDR対応機種ではガンマ (EOTF) の設定にHDR専用の項目が表示されます。詳細は、ColorNavigator 7またはColorNavigator NXの取扱説明書を参照してください。

ガンマ(EOTF)  2.20  L\*  PQ  HLG  LUT

PQ/HLGオプション

HLGシステムガンマ

- 機種によっては、インポートしたLUTファイルを目標ガンマ (EOTF) として設定できます。また、インポートしたLUTファイルをエクスポートすることもできます。読み込み可能なLUTファイルのフォーマットは次のとおりです。
  - データ形式はCSV
  - 数値の数は256個または1024個
  - 数値は0以上の整数値または小数値で、右肩上がりに増加すること

L\*  PQ  HLG  LUT

LUTファイルのインポート  
LUTファイルのエクスポート

- 機種によってはガンマ (EOTF) の調整方法を指定できます。詳細は、ColorNavigator 7またはColorNavigator NXの取扱説明書を参照してください。
- 機種によっては黒レベルを調整できます。「最小値」または $\text{cd/m}^2$ 単位で指定できます。

黒レベル  最小値  0.2  $\text{cd/m}^2$

- 機種によっては「リミテッド (109%白) に最適化」のオプションが設定できます。詳細は、ColorNavigator 7の取扱説明書を参照してください。

オプション  リミテッド (109%白) に最適化

## Standard / Sync Signalモード

輝度、白色点、ガンマ（EOTF）、色域の調整値を設定します。

輝度 120 cd/m<sup>2</sup> 輝度を設定します。

白色点 sRGB 6500 K 白色点を設定します。機種によっては規格で設定された値を選択できます。

ガンマ(EOTF) sRGB 2.2 ガンマ（EOTF）を設定します。機種によっては規格で設定された値を選択できます。

色域 sRGB 色域を設定します。規格で設定された値を選択します。

色域クリッピング 色域クリッピングを設定します。

### 参考

- Sync Signalモードでは、白色点と色域クリッピングのみ設定可能です。
- HDR対応機種ではガンマ（EOTF）の設定にHDR専用の項目が表示されます。詳細は、ColorNavigator 7またはColorNavigator NXの取扱説明書を参照してください。

ガンマ(EOTF) HLG 2.2

PQ/HLGオプション オフ

HLGシステムガンマ 1.2

6. 「SelfCalibration設定」タブまたは「SelfCorrection設定」タブをクリックして、SelfCalibration / SelfCorrectionを設定します。

### SelfCalibrationの場合

1. SelfCalibration機能を有効にします。

カラーモード SelfCalibration設定 キーロック

SelfCalibrationを有効にする チェックボックスをオンにします。

SelfCalibrationのスケジュール実行によってモニターの調整状態を維持します。

2. SelfCalibrationの実行サイクルを設定します。

### 注意点

- お使いの機種によって、選択できる設定が異なります。

実行サイクル 四半期

1月/4月/7月/10月

第1週

日曜日 00 : 00

実行サイクル	設定内容
使用時間	モニターの使用時間を設定します。
毎日	実行する時刻を設定します。
毎週	実行する曜日、時刻を設定します。
毎月	実行する週、曜日、時刻を設定します。
四半期	実行する月、週、曜日、時刻を設定します。
6ヵ月	
1年	
月	実行する間隔、週、曜日、時刻を設定します。
週	実行する間隔、曜日、時刻を設定します。

3. SelfCalibrationの実行タイミングを設定します。

モニター使用中はSelfCalibrationを実行しない

モニターがパワーセーブに移行するときにSelfCalibrationが開始されます。

チェックボックスをオンにすると、モニターがパワーセーブに移行したとき、またはモニターの電源をオフしたときにSelfCalibrationが実行されます。

チェックボックスをオフにすると、モニターの使用状態に関係なく、設定したスケジュールどおりにSelfCalibrationが実行されます。

4. SelfCalibration実行時にStandard Modeキャリブレーションを実行するかを設定します。

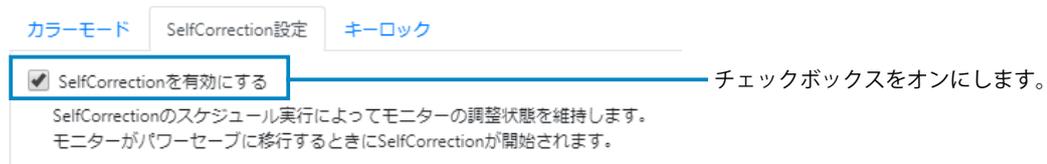
Standard Modeキャリブレーション

sRGB、Adobe RGB、その他のカラーモードの色を調整します。

チェックボックスをオンにすると、SelfCalibration 実行時にStandard Modeキャリブレーションが実行されます。

## SelfCorrectionの場合

1. SelfCorrection機能を有効にします。



SelfCorrectionのスケジュール実行によってモニターの調整状態を維持します。  
モニターがパワーセーブに移行するときにSelfCorrectionが開始されます。

2. SelfCorrectionが完了してから次の実行までの間隔を設定します。



モニターの使用時間を設定します。

SelfCorrectionの実行サイクルは「使用時間」のみです。

また、SelfCorrectionの実行タイミングは、モニターがパワーセーブに移行したとき、またはモニターの電源をオフしたときです。

3. SelfCorrection実行時にStandard Modeキャリブレーションを実行するかを設定します。

### 注意点

- ・「Standard Modeキャリブレーション」に対応していないモニターの場合、この設定は表示されません。

Standard Modeキャリブレーション

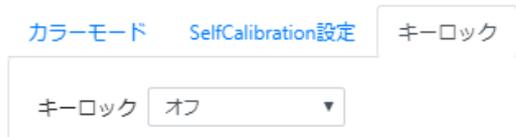
sRGB、Adobe RGB、その他のカラーモードの色を調整します。

チェックボックスをオンにすると、SelfCorrection 実行時にStandard Modeキャリブレーションが実行されます。

### 注意点

- ・ SelfCalibration / SelfCorrectionはColorNavigator 7またはColorNavigator NXで調整した状態を維持するためにお使いください。
- ・ SelfCalibration / SelfCorrectionを実行した場合、システムのカラープロファイルは更新されません。カラープロファイルの更新が必要な場合はColorNavigator 7またはColorNavigator NXを使用して調整をおこなってください。

- 「キーロック」タブをクリックして、キーロックを設定します。



モニターの操作ボタンをロックするか選択できます。

設定	ロックできるボタン
メニュー	ENTERボタン
オール	⌘を除くすべてのボタン
オフ	なし（すべてのボタンが有効）

- 手順4で選択したそれぞれの機種に対して、すべての設定が完了したら「保存」をクリックします。  
モニター設定が保存されます。
- 「閉じる」をクリックします。

## ● アップロード要求

選択したモニター情報を最新の状態にするために、クライアントコンピュータにデータアップロード要求を送信できます。

- モニター一覧で、対象のモニターを選択します。



「アップロード要求」ボタンが有効になります。

- 「アップロード要求」をクリックします。  
確認メッセージが表示されます。「送信」をクリックするとアップロード要求がクライアントコンピュータに対して送信されます。データアップロードの実施状況はモニター詳細情報エリア (P.6) で確認できます。

## ● 資産情報の設定

モニターに固有の資産情報を設定することができます。設定した情報はモニターに保存されるため、他のコンピュータにインストールされたColorNavigator 7またはColorNavigator NXから確認しても同じ資産情報が表示されます。

### 注意点

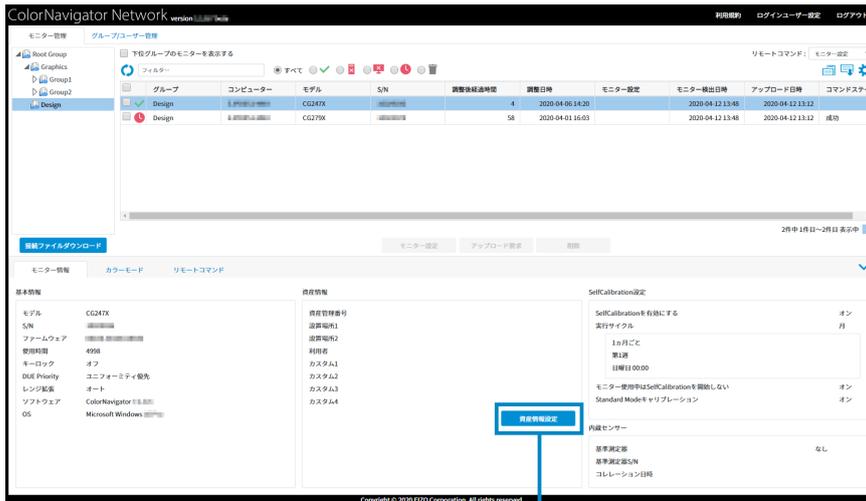
- 複数のモニターの資産情報を同時に設定することはできません。1台ずつ設定してください。

- モニター一覧で、対象のモニターを選択します。

### 参考

- チェックする必要はありません。

2. モニター詳細情報エリアの「資産情報」にある「資産情報設定」をクリックします。



「資産情報設定」をクリックします。

資産情報設定画面が表示されます。

3. 資産情報を設定します。  
必要な情報を入力します。

資産管理番号	CG246-12345678
設置場所1	R&B
設置場所2	Design Department
利用者	User1
カスタム1	0
カスタム2	1
カスタム3	2
カスタム4	3

送信      キャンセル

4. 「送信」をクリックします。  
資産情報がクライアントコンピュータに対して送信されます。実施状況はモニター詳細情報エリア (P.6) で確認できます。

## 第4章 こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、当社にご相談ください。

症状	原因と対処方法
1. メイン画面が表示されない	<ul style="list-style-type: none"><li>対応ブラウザを使用していることを確認してください。</li></ul>
2. モニターが一覧に表示されない	<ul style="list-style-type: none"><li>クライアントコンピュータのColorNavigator 7、ColorNavigator NX、またはColorNavigator NetAgentソフトウェアの設定を確認してください。</li><li>コンピュータとモニターがUSBケーブルで正しく接続されていることを確認してください。</li><li>モニターの電源がオフまたはモニターがパワーセーブになっていないことを確認してください。</li><li>プロキシが正しく設定されていることを確認してください。</li><li>ColorNavigator NetAgentを最新バージョンにアップデートしてください。</li></ul>
3. モニターが違うグループに表示される	<ul style="list-style-type: none"><li>不適切な接続ファイルをインポートしている可能性があります。正しい接続ファイルをインポートし直してください。</li></ul>
4. パスワードを忘れたユーザーがいる	<ul style="list-style-type: none"><li>システム管理者アカウントでログインして、パスワードを再設定してください。</li></ul>
5. ログインできないユーザーがいる	<ul style="list-style-type: none"><li>ユーザーアカウントが無効になっていないか確認してください。</li></ul>
6. 「調整後経過時間」と「調整日時」が空白になる	<ul style="list-style-type: none"><li>モニター設定が一度も送信されていない可能性があります。モニター設定を送信してください（「<a href="#">モニター設定</a>」(P.23) 参照）。</li><li>有効なカラーモードのタイプがすべて「Standard」になっている可能性があります。少なくともひとつのカラーモードのタイプを「Advanced」に設定して、モニター設定を送信してください（「<a href="#">モニター設定</a>」(P.23) 参照）。</li></ul>
7. CS/CXシリーズモニターで、タイプが「Calibration」に設定されているカラーモードが未調整になっている	<ul style="list-style-type: none"><li>ColorNavigator 7またはColorNavigator NXを使用してキャリブレーションをおこなってください。</li></ul>

# 付録

## 商標

Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edge、.NET Frameworkは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、CuratOR、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorEdge Tablet Controller、ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i-Sound、Quick Color Match、RadiLight、Re/Vue、SafeGuard、Screen Administrator、Screen InStyle、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。

その他の会社名、商品名およびロゴマークは各社の商標または登録商標です。

